

講演会&パネルディスカッション①

発達障害の子が、人間関係を学ぶグループ活動 集団成功経験が、学校生活を大きく変える！

開催趣旨

アサヒキャンプ名古屋では、LD、ADHD、自閉スペクトラム症、知的障がいなどの小中学生が、学生ボランティアと小グループ活動、大グループ活動を楽しみます。その中で対人関係能力を大きく伸ばす子がいます。その仕組み、理由をアサヒキャンプに35年関わり、子どもたち、学生を見てきた中久木が話します。保護者や本人に登場していただき、そのドラマ、驚きを伝え、何を大切にすると大きな成長につながるのかポイントをお伝えしたいと思います。関心のある方はどなたでもどうぞ！



日時・場所 4月29日(日) 13:30~15:30 (受付開始 13:00)

ウィルあいち2階 セミナールーム5 (定員 50人) 名古屋市東区上笠杉町1 電話 052-962-2511
交通 地下鉄「市役所」駅2番出口東へ徒歩10分 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩8分

講演 中久木俊之「対人関係能力が伸びる小グループ活動の仕組みと運営、そしてドラマ」

アサヒキャンプ名古屋事務局長、活動歴35年。特別支援教育支援員養成講座、フリースクールも行う。

パネルディスカッション・質疑応答 (司会 中久木)

村岡武美「人前で意欲的に発表、中学校で大きな成長。息子がアサヒキャンプで得たこと」

村岡拓磨「本人が語る 小グループ活動を通してお兄さんお姉さんから学んだこと」

高校2年生、小4~中3アサヒキャンプ参加。中1、中2の3年生を送る会で大活躍。

佐々木悠人「本人が語る アサヒキャンプの魅力」

高校1年生、小3~中3アサヒキャンプ参加。将来大学生ボランティア志望

参加費 おひとり1,000円

参加費は当日受付にていただきます。関心のある方はどなたでもどうぞ！

主催 アサヒキャンプ名古屋

共催 子ども支援室カシオペア ディスレクシア協会名古屋

申込方法 講演会の月日、お名前、〒住所、電話番号、お立場もしくは所属会名を明記の上、メールにてお申し下さい。定員50人。先着順受付。

講演会申込専用メール asahicamp.nagoya.kouenkai@gmail.com

講演会申込専用メール

QRコード



ホームページ

QRコード



アサヒキャンプ名古屋について、詳しくはホームページやFacebookをご覧ください。

アサヒキャンプ名古屋 〒456-0024 名古屋市熱田区森後町7-14 沼田ビル3階

電話 052-908-0623 FAX052-908-0635 メール asahicamp.nagoya@gmail.com

<http://asahicamp.nagoya/> <https://www.facebook.com/asahicampnagoya/>

4月29日の講演の中で中久木が話したいと考えていること
「人間関係を学ぶグループ活動 集団成功体験が学校生活を大きく変える」

アサヒキャンプ名古屋

中久木俊之

人間関係を学ぶグループ活動

- 他人のことを考える
- 大勢の前で発表する
- 小集団、大集団の中で成功体験を積み重ねる

伸びていく子どもたち、学生たち

- 小2まで、小3～小5、小6～中3の課題は違う
- 小3から中3までアサヒキャンプに参加していた子たちの成長
- 大学4年間アサヒキャンプ活動をした人たち
- マズローの欲求の5段階説と人の成長、集団の大きさの関係

私とグループワーク

- 私の経験
- 居場所としてのグループ
- 主体的に活動できるグループとは

アサヒキャンプはなぜ5人グループを基本としているのか？

- グループ構成員3人、4人、5人、6人の違い
- 働きかけをベクトルで考える

アサヒキャンプ全体の構造

- 小グループが6、7個ある構造
- 外側からスタッフが見守りつつ、支援する構造
- パパ・ママが集団全体のリーダー

人間関係の段階を課題分析で考える

- 課題分析（ティーチ、ABAの基本）を活用した観察と評価
- 他者を知ることは自分を知ること
- 3人での関係、会話ができることが基本
- さまざまな要素、課題を全体のバランスから考え、優先順位の高い課題を考える

子どもができることを一つひとつ増やしていくことを場面設定から応援したい

- 成長していく自分を信じられるように支援したい

中久木俊之 プロフィール

大学4年間のアサヒキャンプ活動をきっかけに1988年～2006年、朝日新聞厚生文化事業団で、さまざまな個性豊かな子や不登校の子が参加する「アサヒキャンプ」を担当。2007年NPO法人アサヒキャンプ名古屋を立ち上げ、事務局長。「楽習会」「マイスペース」など少人数で行う支援メニューも増やす。35年間アサヒキャンプに関わる理由は、自己肯定感を高め、人生を変えていく姿をたくさん間近で見てきたから。2010年、NPO法人子ども支援室カシオペアを立ち上げ、「特別支援教育支援員養成講座」を毎年春と秋に7日間講座を開催。2015年から平日に行っているフリースクールでは学習面で「できた！」と思いながら、自己肯定感を高めていくことがテーマ。55歳。